

～7月から9月までの行事～

科学オリンピック (生物) 7/17～

今年も、本校の多くの生徒が、科学オリンピックの予選にチャレンジしました。

<生物オリンピック>高校生7名

7/17の予選に挑戦しました。

残念ながら本戦進出を果たすことはできませんでしたが、各自が持てる力を発揮して奮闘しました。来年以降の引き続きのチャレンジも見据えて、さらなる勉強に励む姿が期待されます。

学都「仙台・宮城」サイエンスデイ 2017 7/16

東北大学で行われた、『学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2017』に参加してきました。当日は、開場には10,580人の来場があり、自然科学部のブ



ースには、1,100人を超える来客がありました。自然科学部のブースでは、「SECRET SCIENCE～隠された科学～」をテーマに、来場者が6つの実験の中から虚偽の実験を見つけるといふ、体験型のブースを用意しました。

サイエンスデイ AWARD2017 7/21

東北大学カタールサイエンスキャンパスホールで行われた「サイエンスデイ AWARD2017」(『学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2017』の表彰式のこと)に参加し、



次の6つの賞を受賞することができました。

○公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、ソニー株式会社より「RESTART JAPAN・ソニー賞」

○理化学研究所 光量子工学領域 テラヘルツ光研究グループ グループディレクター大谷知行氏より「心に鮮やかインプレッション賞」

○SCSK株式会社より「夢ある未来を、共に創りま賞」

○東北大学流体科学研究所長・宇宙少年団仙台たなばた分団長 大林茂氏より「東北大学流体科学研究所長・宇宙少年

団仙台たなばた分団長賞」

○NPO 科学協力学祭センター 代表理事 川添良幸氏より「NPO 科学協力学祭センター賞」

○宮城県仙台第二高等学校 物理部より「仙台二高物理部賞」

第11回Z星研究調査隊 8/4～6

平成29年8月4日(金)～6日(日)の3日間、高校自然科学部の生徒3名が、第11回Z星研究調査隊に参加しました。高校生セミナーサポート事業「Z星研究調査隊」は、国立天文台水沢VLBI観測所VERA水沢局20m電波望遠鏡を用いた電波観測による天文学研究体験です。

東北各地の高校生12名が参加し、宿泊施設を併設した国立天文台水沢VLBI観測所

で、電波天文学の基礎に関する講義を受けるとともに、昼夜を問わず電波望遠鏡を用いてグループ毎に様々な天体を観測し、データ解析を行いました。



「Scienceday of the year」「文部科学大臣賞」を受賞 8/18

7月16日(日)に行われた「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ」の出席108プログラム並びに48の『サイエンスデイ AWARD』賞創設者の中



から、その年、最も優れた個人・団体を表彰する「Scienceday of the year」において、「文部科学大臣賞」を受賞することができました。

なお、審査基準は

- (1) 科学技術に関する理解増進の目的・目標が顕著に達成されているものであること。
- (2) 科学技術を社会・一般に伝える内容と方法が画期的であること。
- (3) 他の分野や組織での応用・展開が十分期待できるものであること。
- (4) 次世代の科学技術の向上に資することが極めて期待できるものであること。

であり、このような点で評価していただいたことを大変光栄に思います。今後も、科学の楽しさを黎明から発信していきたいと思います。

## SSH 生徒研究発表会 (神戸国際展示場) 8/8~10

会場: 神戸国際展示場

発表者: 須田真理

発表題: 「津波に強い街づくり」

参加者: 発表者を含む3名の高校生

8月9日(1日目)

9:00 開会・講演

基調講演 「iPS細胞で明日を作ろう」

講演者 国立開発研究法人 理化学研究所

多細胞システム形成研究センター

網膜再生医療研究開発プロジェクト

プロジェクトリーダー 高橋 政代 氏

10:30~ポスター発表(評価)

13:00~17:00 ポスター発表(一般公開), アピールタイム

17:30~18:00 講評・全体発表校選出

8月10日(2日目)

9:00~11:30 全体発表校による口頭発表

12:30~13:30 ポスター発表(一般公開)

14:00~表彰, 講評, 閉会

ポスター発表参加校はSSH指定校を中心に206題, 海外招へい参加校を含めると230題を超えました。本校からは「津波に強い街づくり」と題して, 自作の模型を用いた実験および文献調査から見てきた津波に対する街づくり

について発表し, 審査委員の先生方から多くのアドバイスをいただきました。また, 数多くのSSH校の研究発表に触れ, 大いに刺激を受けた様子がうかがえました。



## PCSHS サトゥン校来校 8/30~9/3

本校 SSH 研究開発課題の一つである「世界の国との連携」として, 世界へ科学を発信できるグローバルなコミュニケーション力を習得するため, 海外連携校であるタイの Princess Chulabhorn Science High School Satun (プリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・サトゥン校, PCSHS サトゥン校) から生徒10名と教員など5名が来校しました。本校生徒と一緒に高校の授業への参



加, 歓迎セレモニーでの研究内容のプレゼンテーション, 黎明祭クラスパフォーマンスでのタイ舞踊披露, 自然科学部と共同でのポスターセッション, 東北大学災害科学国際研究所や仙台市・南三陸町の復興の様子, トヨタの自動車工場の見学や東北大学タイ留学生との交流も行うなど, 盛りだくさんのプログラムでした。今年度はこの交流事業を科学技術振興機構の海外交流支援事業である「さくらサイエンスプラン」の助成を活用して実施しました。来年1月には2年生5名がPCSHS サトゥン校を訪問し, 課題研究の発表や科学や英語の競技会が行われるアカデミックフェスティバル等に参加する予定です。



## 地域科学教室 9/3

黎明祭一般公開日に, 自然科学部が演示, 実験を行い, 来校された方々にも実験に参加していただきました。演示した実験は次の通り。

### 【中学校】

- ①液体窒素実験
- ②メダカの実験
- ③魚の展示
- ④ダイラタンシー
- ⑤ダジックアース
- ⑥ボルタ電池
- ⑦冷却実験
- ⑧静電気実験



### 【高校】

- ①ペットキャップ顕微鏡
- ②偏光板工作
- ③炎色反応
- ④ゲームプログラミング
- ⑤同軸ケーブルの説明



多くの方に体験していただきました。また, 部誌, フェージストラップ, DNAストラップ等も好評でした。

## 今後のSSH行事

10/26	SS 総合Ⅱ課題研究中間発表会
11/10	SSH 研究開発報告会・ICT利活用(MIYAGI Style)公開授業
1/7~14	SSH タイ王国海外研修